

「消化器」コースユニット4・5・6 試験問題

2021年7月16日

1. 関節痛患者の診断について、指導医が「この検査が陰性ならSLEは考えにくい」と話していた。この検査で正しいのはどれか
 - (a) 感度は低い
 - (b) 感度は高い
 - (c) 特異度は高い
 - (d) 特異度は低い
 - (e) 感度と特異度はほぼ等しい
2. 新開発された肝癌のスクリーニング検査を肝疾患患者1000名に対して実施した。この検査では120名が陽性であった。肝癌患者の40名中陽性は24名であった。この新しく開発された検査法の感度と特異度の組み合わせで正しいものはどれか
 - (a) 感度 60%, 特異度 90%
 - (b) 感度 90%, 特異度 60%
 - (c) 感度 12%, 特異度 60%
 - (d) 感度 60%, 特異度 12%
 - (e) 感度 14%, 特異度 86%
3. 食道の解剖について誤ったものを2つ選べ
 - (a) 食道は消化管でありながら、間膜や漿膜を欠いている
 - (b) Zenker 憩室は、真性憩室である
 - (c) 左迷走神経は食道前方を走行し、右迷走神経は食道後方を走行する
 - (d) 食道憩室の外科的治療は、憩室切除のみで十分である
 - (e) 下部食道括約筋 (LES) は、嚥下の後に5~8秒弛緩する
4. 消化性潰瘍について誤ったものを選べ
 - (a) 消化性潰瘍の攻撃因子として胃酸のほか、喫煙、アルコールなどがある
 - (b) 吻合部潰瘍の原因の一つとして低酸がある
 - (c) Zollinger-Ellison 症候群においては、腫瘍であるガストリノーマからのガストリン分泌により消化性潰瘍を生じる
 - (d) *H. Pylori* 菌の検査法として、内視鏡による迅速ウレアーゼ試験、検鏡法、PCR法がある
 - (e) 消化性潰瘍の合併症として多い順に、出血、穿孔、狭窄である
5. 早期胃癌について正しいものを3つ選べ
 - (a) 腹腔鏡下胃切除は、従来の開腹手術に比べ、手術時間は長いものの、出血量は少ない
 - (b) 集団検診によって発見される胃癌の中で、早期胃癌は3割以下である
 - (c) 早期胃癌の定義は、T1腫瘍でリンパ節転移のないものである
 - (d) 粘膜内癌のリンパ節陽性率は、約10%である
 - (e) 内視鏡治療の原則は、リンパ節転移の可能性が極めて低く、腫瘍が一括切除可能な病変である
6. 進行大腸癌について正しいものを2つ選べ
 - (a) 結腸癌の治癒切除後の再発部位は肺が最も多い
 - (b) 直腸癌の治癒切除後は、局所再発が最も多い
 - (c) 切除可能な肝転移を伴う大腸癌は、原発巣切除と肝切除の適応となる
 - (d) 肺転移を有する大腸癌は、すべて肺切除の適応とならない
 - (e) 局所再発に起因する水腎症は手術適応となりうる

7. 炎症性腸疾患について正しいものを選び

- (a) 潰瘍性大腸炎の初発時において最も頻度が高い症状は、下痢、腹痛である
- (b) 潰瘍性大腸炎患者に合併する大腸癌の平均発生年齢は 38 歳程度である
- (c) 潰瘍性大腸炎患者に合併する大腸癌の予後は不良である
- (d) クロウン病の病変は直腸に最も多い
- (e) 喫煙はクロウン病の術後再発の危険因子である

8. 肛門疾患について誤ったものを選び

- (a) 外痔核は血栓を形成し有痛性の腫瘍を形成することがある
- (b) クロウン病に合併する肛門疾患のうち最も多いのは内痔核である
- (c) 直腸脱は、高齢女性に多い症
- (d) 内痔核は時に嵌頓する
- (e) 内痔核の症状は出血や脱出である

9. スキルス胃癌について正しいものを2つ選び

- (a) 腹膜播種の診断のため、審査腹腔鏡は有用である
- (b) 肝転移が多い
- (c) 化学療法が著効する
- (d) 腹膜播種が多い
- (e) 予後不良であるため、積極的に拡大手術を行うべきである

10. がん疼痛に対する薬物療法として正しいのはどれか

- (a) アセトアミノフェンはオピオイドを開始したら中止する
- (b) ベースの第一選択薬はモルヒネの静脈内投与である
- (c) 経口レスキュー剤には除放剤が適している
- (d) モルヒネによる便秘には耐性ができない
- (e) 鎮痛補助薬として抗痙攣薬は禁忌となる

11. 肝機能評価に用いられないものはどれか

- (a) ICG 消失率
- (b) 総ビリルビン
- (c) アシアロシンチ
- (d) Couinaud 分類
- (e) Child-Pugh 分類

12. 肝細胞癌について誤った記載はどれか

- (a) 肝移植の適応がある
- (b) C 型肝炎に起因するものが増加している
- (c) 単発肝細胞癌では、肝切除が第一選択である
- (d) 造影 CT では造影早期相で濃染されることが多い
- (e) 遠隔転移を伴う場合、分子標的薬が標準治療である

13. 急性胆嚢炎の治療として誤ったものはどれか

- (a) 抗菌薬投与
- (b) 十分な輸液
- (c) 内視鏡的胆管ドレナージ
- (d) 経皮経肝胆のうドレナージ
- (e) 腹腔鏡下胆のう摘出術

14. 遠位胆管癌による閉塞性黄疸に対する減黄処置はどれか。2つ選べ
(a) EST(Endoscopic Sphincterotomy)
(b) EBS(Endoscopic Biliary Stenting)
(c) ENBD(Endoscopic Naso-biliary Drainage)
(d) EPBD(Endoscopic papillary Balloon Dilatation)
(e) ERCP(Endoscopic Retrograde CholangioPancreatography)
15. 浸潤性膵管癌に対する治療について正しい記載はどれか
(a) 切除可能膵癌に対しては切除が先行される
(b) 切除術後の化学療法は行わない
(c) 上腸間膜静脈に浸潤を認める場合、手術適応はない
(d) 上腸間膜動脈に浸潤を認める場合、手術適応はない
(e) 胃十二指腸動脈に浸潤を認める場合、手術適応はない
16. 膵神経内分泌腫瘍において悪性頻度が低いものはどれか
(a) インスリノーマ
(b) ガストリノーマ
(c) グルカゴノーマ
(d) VIPoma
(e) 非機能性神経内分泌腫瘍
17. 膵粘液性嚢胞腫瘍 (MCN) について誤っている記載はどれか
(a) 膵尾部に好発する
(b) 主膵管と交通がみられる
(c) 中年女性に多くみられる
(d) CT では cyst by cyst が特徴的である
(e) 病理所見では卵巣様間質が特徴的である
18. 肝の画像診断において正しいのはどれか。2つ選べ
(a) 典型的な肝細胞癌の画像所見はリング状早期濃染である
(b) 微量の脂肪成分の検出には MRI が有用である
(c) 肝細胞癌の検出には肝動脈造影下 CT が第一選択である
(d) 転移性肝癌の画像所見は nodule-in-nodule appearance である
(e) 転移性肝癌の検出感度が最も高いモダリティは EOB-MRI である
19. 肝の造影 MRI において正しいのはどれか。2つ選べ
(a) EOB プリモビスト造影剤は全て胆汁中へ排泄される
(b) EOB プリモビスト造影剤はクッパー細胞に取り込まれる
(c) EOB プリモビスト造影剤を投与して5分後に肝細胞相が得られる
(d) 硬変肝では EOB 造影剤の取り込み能が低下する
(e) 肝細胞相のみで低信号を示す結節には厳重な経過観察が必要である
20. 胆道の画像診断に関して正しいのはどれか。2つ選べ
(a) 一般に総胆管径は7mm以上が拡張とされる
(b) 急性胆嚢炎のCT所見は胆嚢腫大、胆嚢壁の肥厚である
(c) MRCPにおいて胆道狭窄の形態は原因疾患に関わらず一様である
(d) 胆嚢コレステロールポリープは動脈相で良好な造影増強効果を有する
(e) 胆嚢癌では直接肝浸潤を来すことは稀である

21. 膵臓の画像診断において正しいのはどれか。2つ選べ
- (a) 膵体部は門脈左側縁から腹部大動脈左側縁までの領域である
 - (b) 主膵管は7mm径以下であれば正常範囲とする
 - (c) 慢性膵炎は画像のみで診断確定することはできない
 - (d) 通常、膵癌は膵実質相にて多血性腫瘍として同定される
 - (e) 急性膵炎において炎症が腎下極以遠に達している場合は造影 CT grade2 以上の重症である
22. 核医学検査について誤っているのはどれか
- (a) 核種の種類によって物理学的半減期は異なる
 - (b) 消化管出血シンチはメッケル憩室の検出に有用である
 - (c) 肝胆道シンチは先天性胆道閉鎖症の診断に有用である
 - (d) FDG-PET/CT 検査では脳に生理的集積を認める
 - (e) 悪性リンパ腫は FDG-PET/CT 検査の保険適応疾患である
23. 以下の記載について正しいのはどれか。2つ選べ
- (a) 消化管出血は IVR 治療の適応となり得る
 - (b) 門脈本幹に腫瘍塞栓がある症例では積極的に肝動脈塞栓術を行う
 - (c) 肝特異性造影剤を用いた造影 MRI は転移性肝癌の診断に向いていない
 - (d) 転移性肝癌の術前に門脈塞栓術を行うことがある
 - (e) 食道静脈瘤に対する標準治療は BRT0 である
24. 正常解剖の記載について正しいのはどれか。3つ選べ
- (a) 左腎静脈は通常大動脈と下腸間膜動脈の間を走行し、下大静脈へ合流する
 - (b) 肝左葉外側域とは S2 と S3 に該当する
 - (c) 上腸間膜動脈は上腸間膜静脈の左側に存在し、動脈の方が細い
 - (d) 脾静脈は膵臓腹側を走行し、上腸間膜静脈と合流後、門脈となる
 - (e) 尾状葉は S1 に該当する
25. 虫垂炎と類似した症状、画像所見を呈さない疾患はどれか
- (a) 憩室炎
 - (b) 感染性腸炎
 - (c) 左尿管結石
 - (d) 虫垂粘液性腫瘍
 - (e) 盲腸癌
26. 次のうち正しいのはどれか
- (a) ウイルソン病では血清銅、セルロプラスミンがともに上昇する
 - (b) ゴーシェ病では肝腫大は強いが脾腫大は稀である
 - (c) シトリン欠損症では脂質・タンパク質を嫌い、糖質を好む食癖が特徴である
 - (d) アンモニアは主に腸内細菌で産生され、脳や骨格筋での産生はない
 - (e) 糖原病 I 型では低身長や高乳酸血症をきたす
27. 急性胆道炎の起炎菌として多いのはどれか。2つ選べ
- (a) *Escherichia coli*
 - (b) *Helicobacter pylori*
 - (c) *Neisseria gonorrhoeae*
 - (d) *Staphylococcus* spp.
 - (e) *Enterococcus* spp.

28. 膵・胆管合流異常について誤っているものはどれか
- (a) 胆汁中のアミラーゼ値が上昇する
 - (b) 胆嚢癌の合併頻度が高い
 - (c) 急性膵炎の原因となる
 - (d) 膵癌の合併頻度が高い
 - (e) 胆管拡張を認める場合には拡張胆管の切除が必要である

29. 自己免疫性膵炎について正しいものを2つ選べ
- (a) 若年の男性に多い傾向がある
 - (b) 血清 IgG 3 値の測定が診断に有用である
 - (c) 治療には免疫抑制剤が第1選択である
 - (d) びまん性膵管狭細を示す
 - (e) 後腹膜線維症を合併することがある

30. Charcot の3徴に含まれない症状はどれか。2つ選べ
- (a) 黄疸
 - (b) 意識障害
 - (c) 腹痛
 - (d) 発熱
 - (e) 肝障害

31. B型肝炎ウイルス(HBV)とC型肝炎ウイルス(HCV)の感染について正しいのはどれか。2つ選べ
- (a) わが国ではHCV抗体陽性肝癌よりもHBs抗原陽性肝癌の方が多い
 - (b) HBs抗原陽性肝癌の平均年齢はHCV抗体陽性肝癌よりも高い
 - (c) 成人のHBV感染によるキャリア化は稀である
 - (d) HCVの感染予防にはワクチン投与が有効である
 - (e) 核酸アナログ製剤はHBVに対して効果的である

32. C型肝炎治療後診療で誤っているのはどれか
- (a) ウイルス学的著効(SVR)後は肝病態が悪化することはない
 - (b) AFPなどの腫瘍マーカーを経時的に測定することは有用である
 - (c) 非侵襲的に何度も測定できる線維化マーカーの有用性が注目されている
 - (d) 個々の症例にあわせたサーベイランス計画をたて実行することが重要である
 - (e) 高齢、男性、アルコール摂取、糖尿病などの因子がある症例ではより注意深い経過観察、生活指導が重要である

33. 85歳の女性。在宅療養中のところ介護老人保険施設に初めて入所した。10年前からB型肝炎ウイルスのキャリアであることが病歴に記載されている。必要な対策はどれか
- (a) 個室に収容する
 - (b) 介護者にB型肝炎ウイルスキャリアであることを周知する
 - (c) 介護者はこの入所者の汗には直接触れない
 - (d) 患者に核酸アナログ製剤の投与を開始する
 - (e) 入浴時は他の入所者と同じ浴槽を使わない

34. C型肝炎ウイルスについて正しいのはどれか
- (a) 一本鎖のRNAウイルスである
 - (b) 垂直感染が主である
 - (c) HCV抗体は中和抗体である
 - (d) 変異株は見られない

(e) ワクチンが普及している

35. E型肝炎ウイルスについて誤っているのはどれか

- (a) DNA ウイルスである
- (b) RNA ウイルスである
- (c) 経口感染する
- (d) 劇症肝炎の原因となる
- (e) 移植後では慢性化することもある

36. 肝細胞癌の根治治療法はどれか。2つ選べ

- (a) 放射線治療
- (b) 肝動脈化学塞栓術 (TACE)
- (c) ラジオ波焼灼術 (RFA)
- (d) 分子標的薬
- (e) 肝移植

37. 門脈域 (Glisson 鞘) に存在しないのはどれか

- (a) 肝動脈
- (b) 肝静脈
- (c) 門脈
- (d) 胆管
- (e) 結合組織

38. 慢性肝炎について誤っているのはどれか

- (a) 肝小葉中心性の持続性炎症である
- (b) bridging necrosis は肝硬変への進展を示す
- (c) わが国では原因ウイルスとしてC型が最も多い
- (d) piecemeal necrosis は活動性の指標となる
- (e) 線維化は進展度の指標となる

39. 組み合わせで誤っているのはどれか

- (a) 急性膵炎 — 膵実質融解、脂肪壊死、出血、炎症
- (b) 慢性膵炎 — 外分泌腺萎縮、線維化、炎症
- (c) 膵仮性嚢胞 — 被覆上皮なし
- (d) 膵癌 — 5年生存率 50%以上
- (e) 膵内分泌腫瘍 — ランゲルハンス島由来

40. 閉塞性黄疸の原因とならないのはどれか

- (a) 総胆管結石
- (b) 肝外胆管癌
- (c) 胆嚢腺筋腫症
- (d) 十二指腸乳頭部癌
- (e) 膵頭部癌

雑感

昨年の問題と似たような問題であった。基本的には講義の範囲から出題されているが、3 から 10 に関しては消化器外科専門医筆記試験の過去問である（2020 年も同様）。講義で扱ってない範囲も出題されるが、過去問に目を通しておけば、問題文も選択肢も全く同じなので、全問正解が可能である。

↓ 消化器外科専門医筆記試験の過去問のリンク

https://www.jsgs.or.jp/modules/senmon/index.php?content_id=21

追試者：（前半と合わせて）7 人